

# 2023年度(2024年3月期) 第1四半期決算説明資料(IFRS)

IHI

2023年8月8日

株式会社 IHI



# 目次

1. 2023年度第1四半期 連結決算	
連結決算総括.....	4
連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書).....	5
報告セグメント別内訳.....	6
金融損益等.....	9
連結財政状態計算書.....	10
連結キャッシュ・フロー計算書.....	11
補足資料.....	12
2. 2023年度 連結業績見通し	
通期業績見通し.....	15
報告セグメント別内訳.....	16
連結キャッシュ・フロー 通期見通し.....	19
3. 報告セグメント別の概況	
資源・エネルギー・環境.....	21
社会基盤.....	23
産業システム・汎用機械.....	25
航空・宇宙・防衛.....	27
<参考資料>.....	29

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示している。

IHI

# 1. 2023年度第1四半期 連結決算

- 売上収益，営業利益については前年同期比で増収増益。
- 民間向け航空エンジンは，サプライチェーンの不安定さが継続しているものの，旅客需要の回復に伴って，スペアパーツ販売が堅調に推移。
- 資機材価格高騰の価格転嫁が一定程度進む一方，環境変化に機動的に対応すべくコスト構造強化を推進。
- 民間向け航空エンジンの増産に備えつつ，営業キャッシュ・フロー獲得に向けた運転資本改善の取り組みを加速。

# 1. 2023年度第1四半期 連結決算 連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書)

(億円)

	'22年度1Q	'23年度1Q	増 減
受 注 高	2,382	3,154	772
売 上 収 益	2,642	2,984	341
営 業 利 益	75	89	13
税引前四半期利益	169	127	▲ 41
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	84	56	▲ 28

売上平均レート(米ドル) '22年度1Q 125.29円  
'23年度1Q 137.44円

# 1. 2023年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(受注高・受注残高)

(億円)

	受 注 高			受 注 残 高		
	'22年度1Q	'23年度1Q	増減	'22年度末	'23年度1Q末	増減
資源・エネルギー・環境	490	917	427	5,657	5,759	102
社会基盤	216	330	113	2,184	2,161	▲22
産業システム・汎用機械	1,066	1,140	74	2,010	2,135	125
航空・宇宙・防衛	592	743	151	2,934	2,899	▲35
報告セグメント計	2,365	3,131	766	12,786	12,956	169
その他	129	146	16	208	237	28
調整額	▲112	▲123	▲10	-	-	-
合計	2,382	3,154	772	12,994	13,193	198

海外受注高・受注残高	1,066	1,824	757	3,907	4,177	269
海外受注高・受注残高比率	45%	58%	13%	30%	32%	2%

受注残高の変動には、為替レート変更の影響も含まれている。

# 1. 2023年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

(億円)

	売上収益			営業利益		
	'22年度1Q	'23年度1Q	増減	'22年度1Q	'23年度1Q	増減
資源・エネルギー・環境	772	851	78	35	1	▲34
社会基盤	351	340	▲11	21	▲12	▲34
産業システム・汎用機械	927	1,002	74	22	25	2
航空・宇宙・防衛	574	782	208	17	93	76
報告セグメント計	2,625	2,975	349	97	108	10
その他	99	97	▲1	▲1	0	2
調整額	▲81	▲88	▲6	▲19	▲19	0
合計	2,642	2,984	341	75	89	13

海外売上収益	1,355	1,670	314
海外売上収益比率	51%	56%	5%

# 1. 2023年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(営業利益の前年同期比増減要因)

(億円)

	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	▲24	6	▲1	▲6	▲9	▲34
社会基盤	▲6	▲23		▲5		▲34
産業システム・汎用機械	27	▲5	2	▲8	▲14	2
航空・宇宙・防衛	37	36	36	▲33	1	76
報告セグメント計	34	13	37	▲52	▲22	10
その他		3		▲3	2	2
調整額		▲1		2		0
合計	34	15	37	▲53	▲20	13

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

販管費の変動とその他損益の増減では為替の変動などを除いている。

# 1. 2023年度第1四半期 連結決算 金融損益等

(億円)

	'22年度1Q	'23年度1Q	増 減
為替差損益	101	69	▲31
持分法による投資損益	7	8	1
その他の金融損益(※)	▲14	▲39	▲24
金融損益等	93	38	▲55

(※)その他の金融損益には受取配当金, 支払利息, リース支払利息, 社債利息, デリバティブ損失等を含む。

期末日レートの変動(米ドル) '22年度1Q +14.22円 (期首122.39円→期末136.62円)  
'23年度1Q +11.45円 (期首133.41円→期末144.86円)

# 1. 2023年度第1四半期 連結決算 連結財政状態計算書

(億円)

	'22年度末	'23年度1Q末	増減
<b>資産合計</b>	<b>19,419</b>	<b>19,888</b>	<b>469</b>
(うち 現金及び現金同等物)	(1,247)	(1,086)	(▲ 160)
(うち 営業債権, 契約資産)	(5,231)	(5,189)	(▲ 42)
(うち 棚卸資産)	(3,745)	(4,257)	(512)
<b>負債合計</b>	<b>14,857</b>	<b>15,220</b>	<b>362</b>
(うち 営業債務等)	(2,470)	(2,180)	(▲ 290)
(うち 契約負債)	(2,018)	(2,013)	(▲ 5)
(うち 有利子負債残高)	(5,194)	(5,887)	(692)
社債及び借入金	(3,936)	(4,640)	(704)
リース負債	(1,258)	(1,246)	(▲ 11)
<b>資本合計</b>	<b>4,562</b>	<b>4,668</b>	<b>106</b>
親会社の所有者に帰属する持分	4,312	4,415	102
非支配持分	250	253	3
<b>負債・資本合計</b>	<b>19,419</b>	<b>19,888</b>	<b>469</b>
<b>D/Eレシオ (※1)</b>	<b>1.14倍</b>	<b>1.26倍</b>	<b>0.12倍</b>
<b>親会社所有者帰属持分比率(※2)</b>	<b>22.2%</b>	<b>22.2%</b>	<b>▲ 0.0%</b>

(※1) D/Eレシオ=有利子負債／資本合計

(※2) 親会社所有者帰属持分比率=親会社の所有者に帰属する持分／負債・資本合計

# 1. 2023年度第1四半期 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

民間向け航空エンジンにおいて、部品在庫確保などの増産に向けた取り組みにより、運転資本が増加。

(億円)

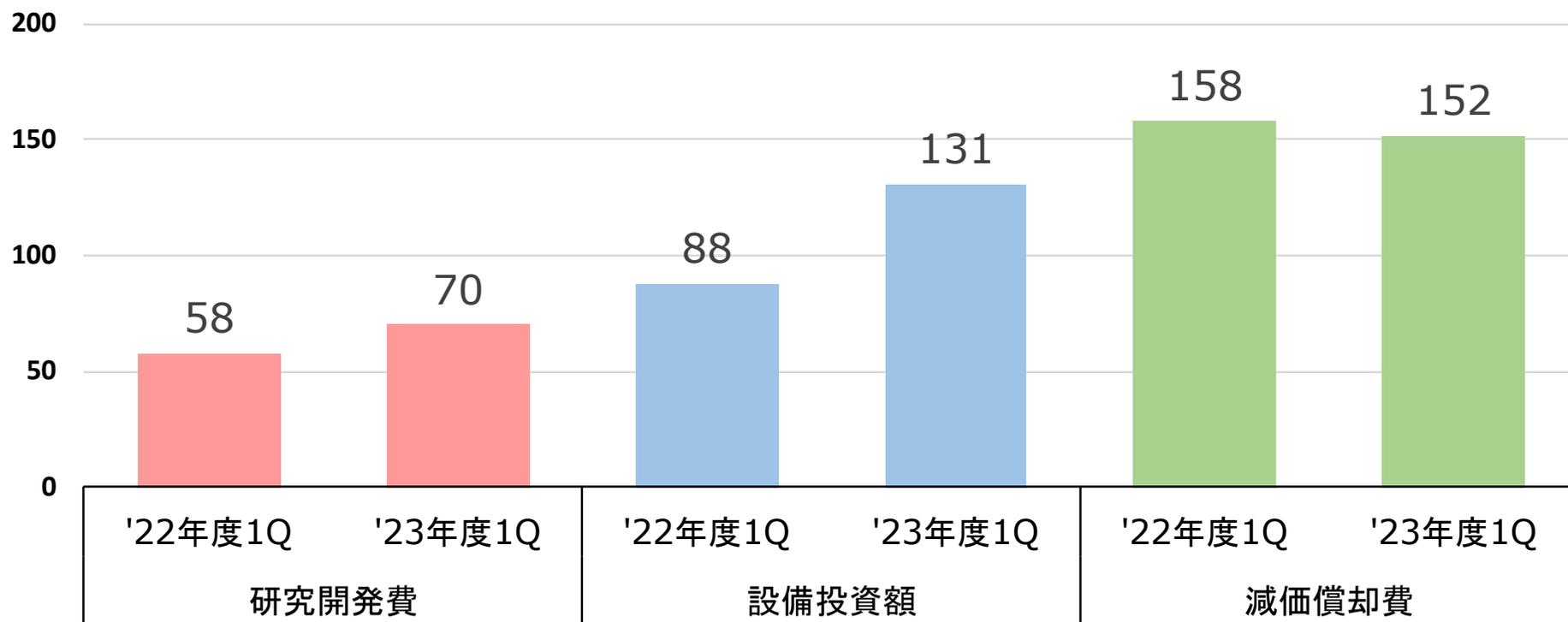
	'22年度1Q	'23年度1Q	増 減
税引前四半期利益	169	127	▲41
減価償却費(※1)	158	152	▲6
その他	▲363	▲259	104
小計	▲36	20	56
運転資本増減(※2)	▲16	▲615	▲598
営業キャッシュ・フロー	▲53	▲595	▲542
投資キャッシュ・フロー	▲106	▲138	▲32
フリー・キャッシュ・フロー	▲159	▲734	▲574
財務キャッシュ・フロー	▲305	554	860

(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。  
 $運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債$

## (1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費

(億円)



設備投資額、減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示している。

(2) 地域別売上収益

(億円)

	'22年度 1Q	'23年度 1Q
日本	1,287	1,313
アジア	426	534
中国	228	252
北米	456	628
中南米	42	25
欧州	176	210
その他	25	19
合計	2,642	2,984

## 2. 2023年度 連結業績見通し

## 2. 2023年度 連結業績見通し 通期業績見通し

前提為替レート 米ドル 130円  
(第2四半期以降)

(億円)

	'22年度実績	'23年度 前回見通しA (※1)	'23年度 今回見通しB	増 減 B-A
受 注 高	13,661	15,000	15,000	0
売 上 収 益	13,529	14,500	14,500	0
営 業 利 益	819	900	900	0
税引前当期利益	648	850	850	0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	445	500	500	0

(参考) 為替感応度(為替相場の1円変動による、営業利益への影響額): 米ドル 10億円  
(※1) 前回見通しは、2023年5月9日公表の業績予想数値。以下のスライドも同じ。

配当見通し(変更なし) 1株あたり 100円(中間 50円, 期末 50円)

## 2. 2023年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高 通期見通し)

(億円)

	'22年度実績	'23年度 前回見通しA	'23年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,934	3,800	3,800	0
社会基盤	1,340	1,800	1,800	0
産業システム・汎用機械	4,559	4,700	4,700	0
航空・宇宙・防衛	3,727	4,700	4,700	0
報告セグメント計	13,562	15,000	15,000	0
その他	539	500	500	0
調整額	▲440	▲500	▲500	0
合計	13,661	15,000	15,000	0

## 2. 2023年度 連結業績見通し

### 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益 通期見通し)



(億円)

	売上収益				営業利益			
	'22年度実績	'23年度 前回見通しA	'23年度 今回見通しB	増減 B-A	'22年度実績	'23年度 前回見通しA	'23年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,713	3,800	3,800	0	262	260	260	0
社会基盤	1,710	1,900	1,900	0	170	130	130	0
産業システム・汎用機械	4,365	4,600	4,600	0	180	240	240	0
航空・宇宙・防衛	3,641	4,300	4,300	0	361	510	510	0
報告セグメント計	13,431	14,600	14,600	0	975	1,140	1,140	0
その他	542	500	500	0	13	30	30	0
調整額	▲444	▲600	▲600	0	▲168	▲270	▲270	0
合計	13,529	14,500	14,500	0	819	900	900	0

## 2. 2023年度 連結業績見通し

### 報告セグメント別内訳(前回見通しからの営業利益の増減要因)

民間向け航空エンジンの部品供給遅れに伴う売上収益減少の影響がある一方、2023年度第1四半期において為替が円安に推移したことから、年度見通しは据え置き。

(億円)

	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境						0
社会基盤						0
産業システム・汎用機械						0
航空・宇宙・防衛	▲ 30		30			0
報告セグメント計	▲ 30	0	30	0	0	0
その他						0
調整額						0
合計	▲ 30	0	30	0	0	0

## 2. 2023年度 連結業績見通し 連結キャッシュ・フロー 通期見通し

民間向け航空エンジンの部品供給遅れのキャッシュ面での影響が見込まれる中、工事代金回収促進など運転資本改善の取り組みを加速し、営業キャッシュ・フロー1,000億円を確保。

(億円)

	'22年度実績	'23年度 前回見通しA	'23年度 今回見通しB	増 減 B-A
税引前当期利益	648	850	850	0
減価償却費(※1)	629	640	640	0
運転資本増減(※2)	▲772	▲200	▲200	0
その他	35	▲290	▲290	0
営業キャッシュ・フロー	541	1,000	1,000	0
投資キャッシュ・フロー	▲523	▲1,000	▲1,000	0
フリー・キャッシュ・フロー	17	0	0	0

(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用权資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

### 3. 報告セグメント別の概況

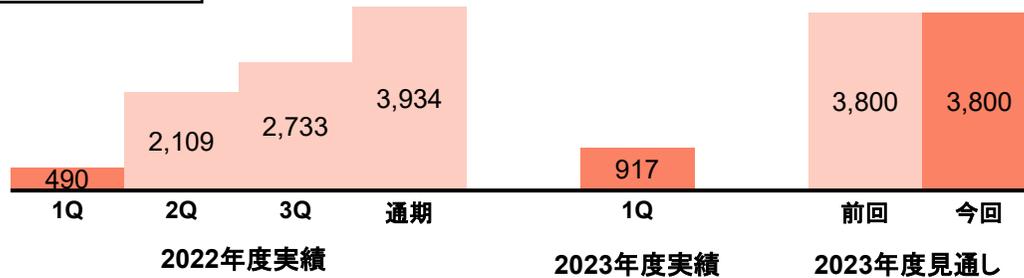
### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円/各期の金額は累計)

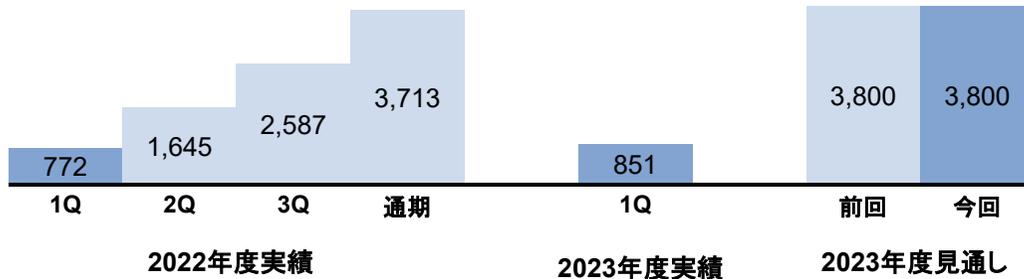
前回: 2023年5月9日公表の業績予想数値

主要事業: 原動機, カーボンソリューション, 原子力

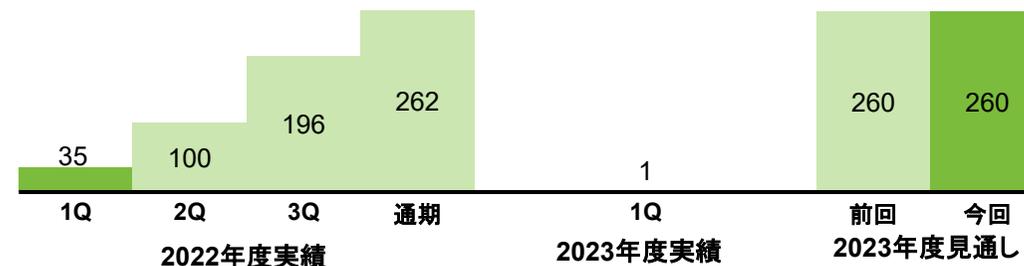
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

東南アジアでの大型発電所プロジェクトやカーボンソリューションで増加。

##### 【売上収益】

原子力で減収となったものの、東南アジアの大型発電所プロジェクトで増収。

##### 【営業利益】

原子力の工事量減少により減益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 前回見通しから変更なし。

### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高						売上収益					
	'22年度				'23年度		'22年度				'23年度	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期
原 動 機	222	491	759	976	237	740	157	326	532	818	147	800
カ ー ボ ン ソ リ ュ ー シ ョ ン	33	239	396	677	228	1,820	323	737	1,111	1,562	328	1,630
原 子 力	113	255	333	487	45	340	159	287	453	710	126	550

### 3. 報告セグメント別の概況

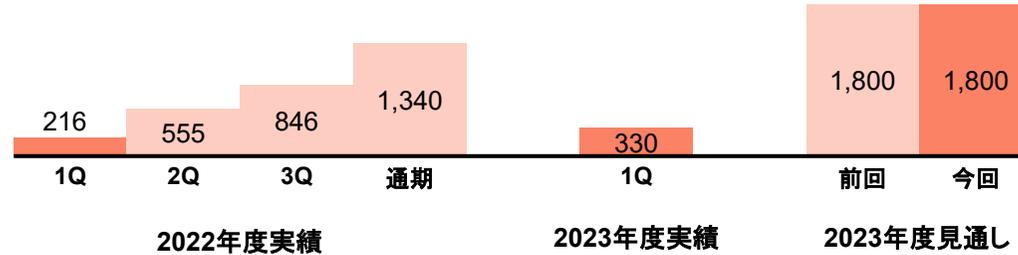
## 社会基盤

(億円/各期の金額は累計)

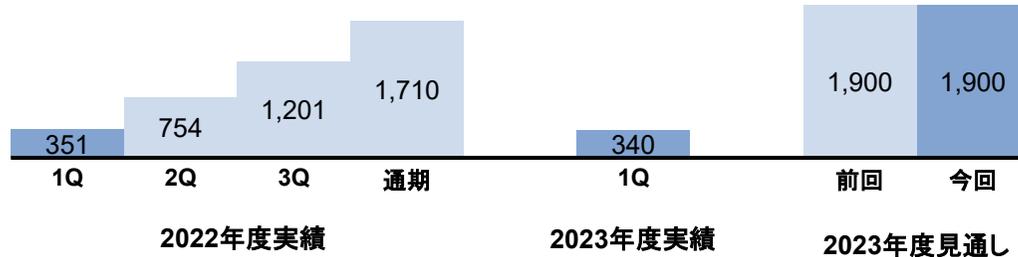
前回: 2023年5月9日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁・水門, シールドシステム, 都市開発,  
交通システム, コンクリート建材

#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

橋梁・水門やシールドシステムで増加。

##### 【売上収益】

シールドシステムで減収。

##### 【営業利益】

橋梁・水門での原価先行算入の影響や、シールドシステムの減収により減益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 前回見通しから変更なし。

### 3. 報告セグメント別の概況 社会基盤

(億円)

	受注高						売上収益					
	'22年度				'23年度		'22年度				'23年度	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期
橋 梁 ・ 水 門	93	274	401	692	184	1,040	202	438	701	1,031	202	1,130
シールドシステム	14	43	98	181	35	270	51	93	144	180	36	240
都 市 開 発	43	85	132	175	41	170	41	85	131	175	41	170

「都市開発」の豊洲地区関連情報は、＜参考資料＞都市開発を参照。



### 3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円)

	受注高						売上収益					
	'22年度				'23年度		'22年度				'23年度	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期
車両過給機	397	897	1,381	1,892	469	1,970	399	899	1,381	1,895	469	1,970
パーキング	116	277	402	600	155	580	94	200	323	463	108	570
回転機械	184	345	465	632	196	630	117	263	406	589	139	630
熱・表面処理	135	253	383	484	96	540	101	216	341	477	104	500
運搬機械	85	169	219	314	56	330	89	159	242	339	62	330
物流・産業システム	77	159	264	360	93	450	66	141	213	336	60	410

「車両過給機」の詳細は、＜参考資料＞車両過給機を参照。

＜車両過給機の販売台数＞

(万台)

販売年度	1Q	通期
2022年度	122	559
2023年度	139	580



### 3. 報告セグメント別の概況

#### 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高						売上収益					
	'22年度				'23年度		'22年度				'23年度	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期
民間向け航空エンジン	371	949	1,576	2,030	528	2,570	376	947	1,571	2,014	511	2,590

「民間向け航空エンジン」の詳細は、＜参考資料＞航空エンジンを参照

＜民間向け航空エンジンの販売台数＞

(台)

販売年度	1Q	通期
2022年度	216	918
2023年度	215	1,204

#### ■ PW1100G-JMエンジンについて

民間向け航空エンジンにおいて当社が参画するPW1100G-JMエンジンプログラムにて、お客さまへの出荷済エンジンの一部部品に追加検査が必要となる事象が発生しました。当社としては、プログラムに参画するパートナー会社と連携して本件に適切に対応していくとともに、今後発生する影響を最小限にするべく取り組んでいきます。

本件の対応も含め、お客さまの運航をよりスムーズにするため、最大限の支援をしていきます。

## < 参考資料 >

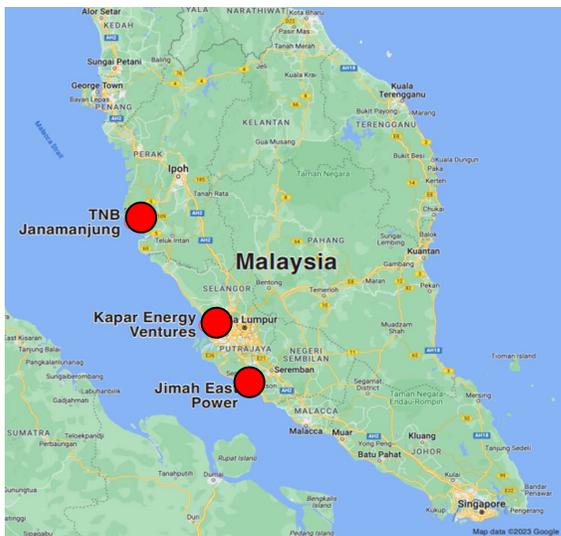
- ・当第1四半期のトピックス
- ・主要な経営指標の推移
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

## マレーシア石炭火力発電所の脱炭素化を目指したアンモニア・バイオマス燃焼の検証を完了、 実行段階へ移行

マレーシア国営電力会社Tenaga Nasional Berhadの100%子会社であるTNB Power Generation Sdn Bhd (以下「TNB Genco」)と共同で、TNB Genco所有の石炭火力発電所の脱炭素化を目指したアンモニアやバイオマス燃焼技術の適用に向けた技術的および経済的検証を完了しました。

今後、検証の議論を踏まえて脱炭素化計画を策定し、実現に向け行動していくことを合意しました。アンモニア・バイオマス少量燃焼を早期に実施するための基本設計を行うとともに、大規模化に向けてより詳細な実現可能性調査を実施します。

<TNB Genco所有石炭火力発電所地図(左図)>  
(赤丸が発電所。上からTNB Janamanjung Sdn. Bhd., Kapar Energy Ventures Sdn. Bhd., Jimah East Power Sdn. Bhd.)



## CO<sub>2</sub>排出量削減による脱炭素社会を実現する建設新材料、 ジオポリマーコンクリート「セメノン™」を開発

IHIと株式会社IHI建材工業(以下「IKK」)は、横浜国立大学およびアドバンエンジ株式会社と共同で、ジオポリマーコンクリート(\*1)「セメノン™」を開発しました。

セメントをまったく使用しないセメノン™は、従来のセメントコンクリートと比較し製造過程でのCO<sub>2</sub>排出量を最大約80%削減できます。

IHIおよびIKKは、セメノン™でシールドセグメントを試作し、社会実装に必要な試験を済ませ、製品化可能であることを確認しています。

今後は海水による耐食性能が要求される栈橋や消波ブロック、浸水対策製品の防水壁、橋梁用の床版や壁高欄などへ展開予定です。

(\*1)ジオポリマーコンクリート

アルカリに活性な粉体(アルミナシリカ粉末)と水ガラス(珪酸ナトリウム水溶液, 珪酸カリウム水溶液)などのアルカリシリカ溶液との反応で形成されるジオポリマーに、骨材(細骨材, 粗骨材)を加えた建設材料。



<普通コンクリートとセメノン™の耐酸性性能の比較> 30

## 軽量・小型で世界最高レベル出力の電動ターボコンプレッサを開発 空気軸受の独自開発により、航空機用燃料電池推進システムを実現



<開発した高出力電動ターボコンプレッサ>

独自開発の空気浮上式ガス軸受電動モータ(\*1)を搭載した、世界最高レベル出力(当社従来比3.5倍)の航空機等向け電動ターボコンプレッサを開発しました。

本コンプレッサの用途として、①小型旅客機用の水素燃料電池推進システム、②旅客機内電力用の燃料電池発電システム、③現在の民間航空機の後継機となる中型旅客機の空調省エネ化を想定しています。

今回の開発は、IHIがNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の2020年度「航空機用先進システム実用化プロジェクト」の委託業務「次世代電動推進システム研究開発 電動ハイブリッドシステム」において実施したものです。

(\*1)空気浮上式電動モータ

モータが高速回転するとき周囲に発生する空気層を利用して回転体を自立浮上させる、IHI独自の技術(空気(ガス)軸受)を採用した電動式のモータ。

## F-35戦闘機搭載エンジンの整備事業を開始

航空自衛隊でも運用されている最新鋭戦闘機「F-35」に搭載されている「F135ターボファンエンジン」について、防衛省殿との契約に基づき、共同開発国以外で初めて設けられる整備拠点として瑞穂工場を進めてきた態勢構築を完了し、同エンジンの整備を開始しました。

この整備拠点は、世界に5か所設けられることが計画されており、IHIはアジア太平洋地域拠点の一つとして、オーストラリアと共に同エンジンの整備を担います。

IHIは、同エンジンの新製エンジン納入の経験を通じて、組立・運転・運用等に関する多くの知見を得ており、今後速やかに整備期間の短縮、整備可能台数の増加を図るとともに、F-35を運用する友好国との協働を通じて、生産基盤のより一層の強化を進めてまいります。



<F135エンジン>

# 主要な経営指標の推移

	日本基準		IFRS						IFRS
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 1Q	2023年度 (見通し)	2023年度 (前回見通し)
受注高	15,050億円	13,992億円	12,800億円	10,970億円	12,612億円	13,661億円	3,154億円	15,000億円	15,000億円
売上収益	15,903億円	14,834億円	12,631億円	11,129億円	11,729億円	13,529億円	2,984億円	14,500億円	14,000億円
営業利益	722億円	824億円	478億円	279億円	814億円	819億円	89億円	900億円	900億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	82億円	398億円	82億円	130億円	660億円	445億円	56億円	500億円	500億円
営業CF	990億円	464億円	424億円	363億円	1,141億円	541億円	▲ 595億円	1,000億円	1,000億円
投資CF	▲ 479億円	▲ 792億円	▲ 855億円	▲ 404億円	279億円	▲ 523億円	▲ 138億円	▲ 1,000億円	▲ 1,000億円
FCF	510億円	▲ 328億円	▲ 430億円	▲ 41億円	1,420億円	17億円	▲ 734億円	0億円	0億円
配当	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株 式併合後)	70円/株 (中間30円、 期末40円)	50円/株 (中間30円、 期末20円)	0円/株	70円/株 (中間30円、 期末40円)	90円/株 (中間40円、 期末50円)	-	100円/株 (中間50円、 期末50円)	100円/株 (中間50円、 期末50円)
ROIC	7.7%	8.7%	4.1%	2.2%	6.4%	6.3%	-	6.4%	6.4%
営業利益率	4.5%	5.6%	3.8%	2.5%	6.9%	6.1%	3.0%	6.2%	6.2%
CCC	83日	97日	92日	124日	112日	120日	-	124日	124日
D/ELシオ	0.92倍	0.93倍	2.00倍	1.85倍	1.24倍	1.14倍	1.26倍	1.13倍	1.13倍
ROE	2.6%	11.8%	2.8%	4.5%	19.3%	11.0%	-	11.0%	11.0%
親会社所有者帰属 持分比率	19.9%	21.0%	15.0%	16.4%	20.3%	22.2%	22.2%	23.2%	23.2%

ROIC: (営業利益+受取利息・配当金)税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

CCC: 運転資本 / 売上収益 × 365日

D/ELシオ: 有利子負債 / 資本合計

ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

親会社所有者帰属持分比率: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

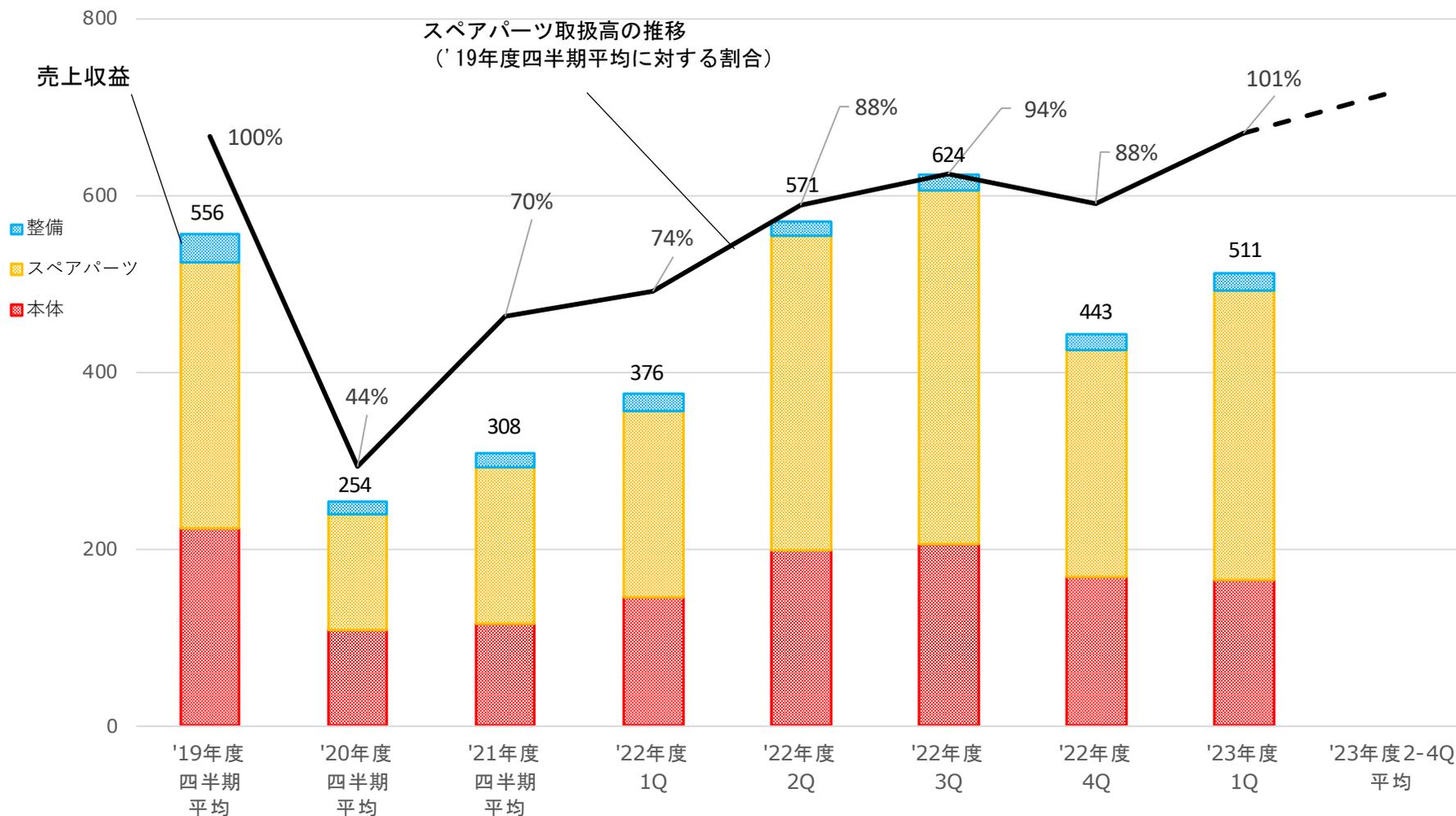
## 売上収益・機種別累計販売台数推移

	日本基準						IFRS					主要搭載機
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23/1Q	
売上収益(億円)	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	1,233	2,014	511	
累計販売台数(台)												
V2500	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,756	7,776	7,777	エアバス A319/320/321
GE90	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,925	2,968	2,983	ボーイング B777
CF34	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,926	6,085	6,121	リージョナルジェット (70~110席級)
GE9x	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,425	2,494	2,511	ボーイング B787/B747-8
PW1100G			16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,585	3,146	3,275	エアバス A320neo
Passport20					13	66	142	202	269	335	352	ボンバルディア Global7500
合計	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,886	22,804	23,019	

販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なる。

## 民間向け航空エンジンの状況

(億円) 民間向け航空エンジンの売上収益およびスペアパーツ取扱高 (USDベース) の推移



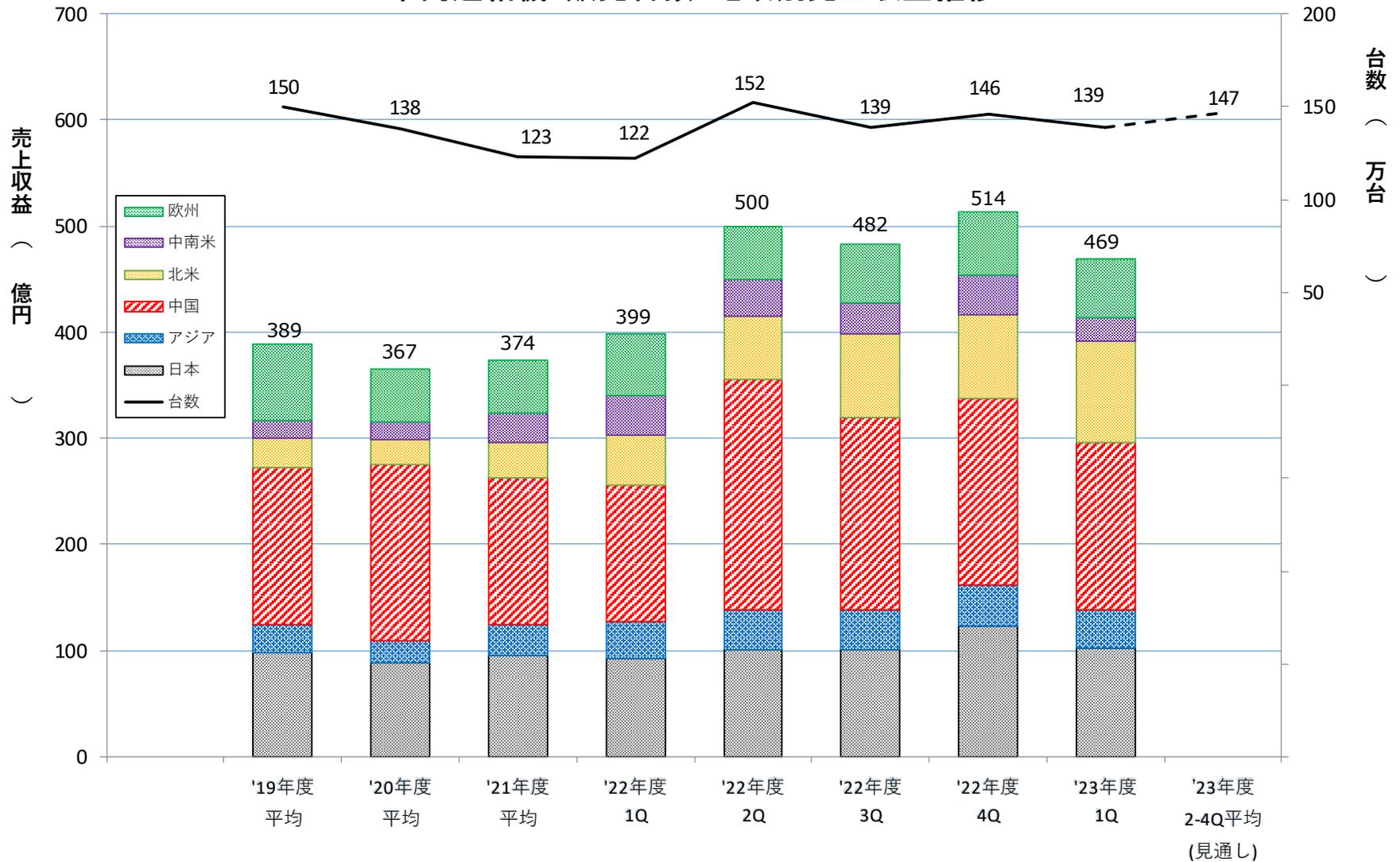
## 地域別売上収益・販売台数推移

(億円)

	日本基準						IFRS					
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	
											1Q	見通し
日本	353	375	346	389	398	446	391	354	380	418	102	450
アジア	298	275	216	158	117	110	107	85	118	149	37	140
中国	234	243	249	485	719	631	572	665	554	702	157	650
北米	16	18	24	33	84	116	108	90	131	264	95	320
中南米	0	7	34	61	74	75	66	69	115	138	23	120
欧州	602	756	743	617	811	513	289	199	195	223	55	290
その他	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0
合計	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,494	1,895	469	1,970
販売台数(万台)	554	589	536	610	790	676	600	551	492	559	139	580

## 車両過給機の状況

### 車両過給機 販売台数・地域別売上収益推移



## (1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	日本基準						IFRS					
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	
											1Q	見通し
賃貸収入	91	93	101	93	92	93	94	123	121	122	29	120

## (2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

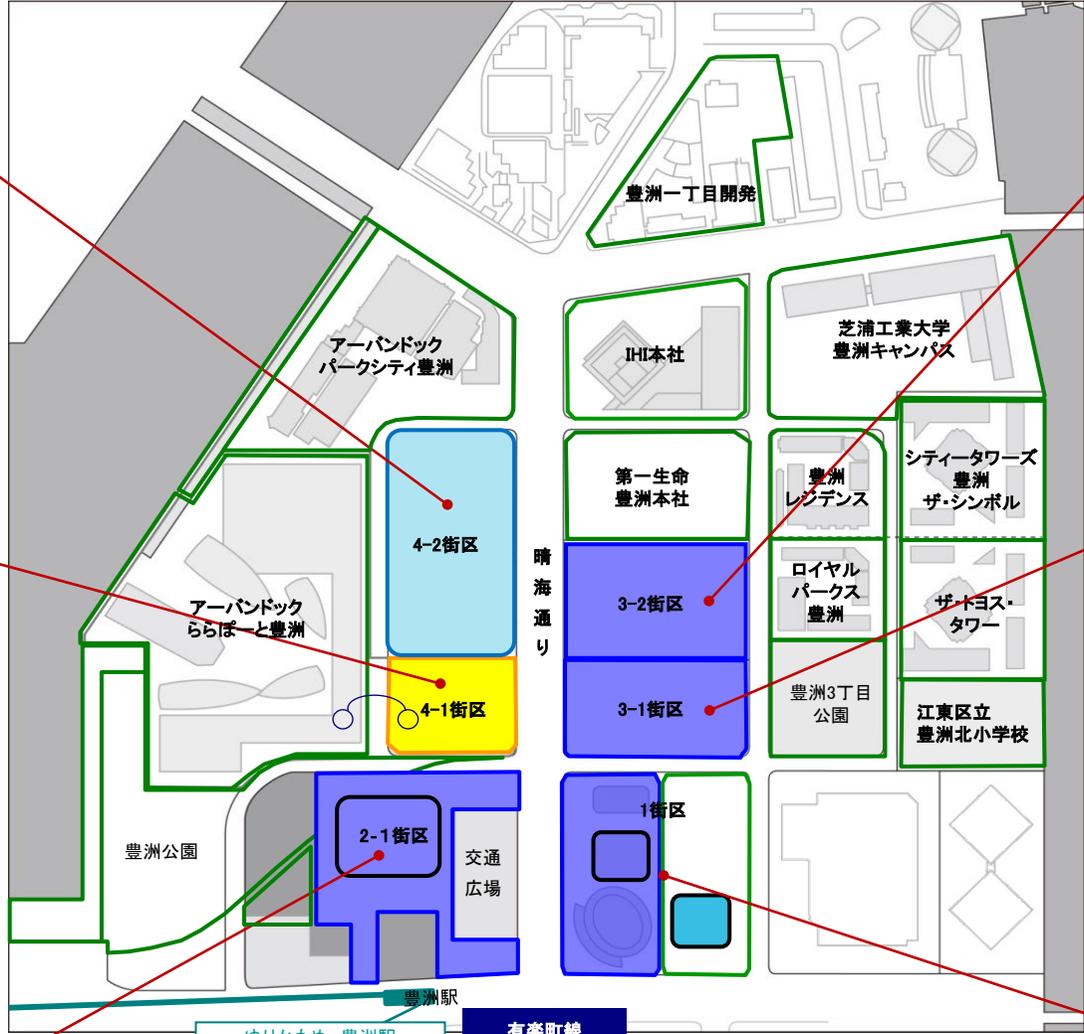
	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'23年度1Q	29	10	10	9

# 豊洲1~3丁目地区 開発マップ

**豊洲4-2街区開発計画**  
敷地面積: 19,493㎡  
2022年7月着工～2025年6月竣工予定

**アーバンドック ららぽーと豊洲ANEX**  
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡  
2006年10月開業

**豊洲ベイサイドクロスタワー(AC棟)**  
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡  
2020年3月竣工



**豊洲フォレシア**  
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡  
2014年7月竣工

**豊洲フロント**  
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡  
2010年8月竣工

**豊洲センタービルアネックス**  
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡  
2006年8月竣工

**豊洲センタービル**  
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡  
1992年10月竣工

■ 建物賃貸	■ 売却・寄付・交換済
■ 土地賃貸	
■ 建物賃貸(借地)	
■ 開発中	

IHI所有地	約5ha
--------	------

# IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。